

# (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

## (認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

### 令和6年度 第4回運営推進会議 議事録

日 時：令和 6 年 10 月 17 日 (木)

時 間：14:00～15:00

開催場所：櫻ホーム西神 4F 多目的室

出席者：別紙参照

#### 1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。朝晩涼しくなってまいりました。体調管理が難しい時期でもあり、月が丘でもコロナが流行ってきてているとの話もありました。高齢者施設としては、予防の徹底と対処をしていかないといけないと改めて感じております。楽しいイベントが多い時期もありますので、感染対策を実施しながら、今年度の目標でもあります地域イベントへの参加もしていきたいと思っています。本日はよろしくお願ひいたします。

#### 2 事業運営に係るご報告

以下、別紙（令和6年度第4回運営推進会議櫻ホーム西神）をもとに説明を行った。

##### (1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

① 稼働率 (P 4)

資料に沿って現状の説明を行う。

目標 98%に対し、ユニット型 8月 95.16%、9月 96.96%。地域密着型 8月 100%、9月 94.67%。合算で 8月 96.13%、9月 96.50%。ショート合算 8月 97.61%、9月 97.37%。上半期（4月～9月までの平均）ユニット型 95.86%、地域密着型 99.06%、合算で 96.48%。ショート合算で 97.77%と目標を達成することができなかった。

原因として、8月に入院者が多くあったことが挙げられるが、退去から平均2日で入居できている点は良かった。

空床ショートステイについて、8月空床 120 日に対し 46 日利用で利用率 38.33%。9月空床 73 日に対し 26 日利用で利用率 35.62%。上半期合計で 40.27% と目標の 40% を達成できている。

② ご入居者の概要 (P 5～6)

資料に沿って説明を行う。

地域別では、地域密着型は神戸市在住の方のみとなっているが、ユニット型でも神戸市の方が多い。平均年齢は、ユニット型 86.4 歳、地域密着型 85.1 歳。要介護度はユニット型平均 3.85、地域密着型 3.45 となっている。要介護 3 以上の方が入居していただけるよう、適正に入居判定を行っていく。

入居申し込み状況 (P 7)

資料に沿って説明を行う。

10月1日現在で、ユニット型 7 名、地域密着型 9 名の待機者がいる。面談済みの方 10 名を目標に、引き続き営業を行っていく。

③ 入院者概要 (P 8)

資料に沿って説明を行う。

8月中旬同フロア内のコロナ感染者あり、居室隔離対応していたため、認知機能の低下、食事摂取量の低下見られ、隔離解除された後も改善が見られず入院となった。環境の変化から ADL や認知機能に影響を及ぼすことがあるため、多職種連携しこまめな情報共有、対応策を考えるようにする。

④ 職員の動向 (P 9)

資料に沿って説明を行う。

8月退職者 正規職員 4名。(介護 3名、看護1名) 9月退職者 なし。8月入職者 正規職員 2名。(看護1名、居宅介護1名) 9月入職者 正規職員 1名。(介護) となっている。

⑤ 施設内での感染状況 (P10)

資料に沿って説明を行う。

8月11日 ウメユニット1名感染者確認。同ユニット内に13日1名、14日1名を確認。対策として、ウメ・モモユニットの居室隔離対応、面会中止、夏祭り参加中止する。(ウメ・モモの方には後日イベントを開催) 結果、3名の感染のみで抑えることができた。

⑥ 運営指導及び指導監査の実施について (P11~12)

資料に沿って説明を行う。

神戸市福祉局監査指導部より4名の方が来られ介護保険法第23条、老人福祉法第18条に基づき、適正に運営されているか、令和2年4月に開設してから二度目となる監査が実施された。

講評の内容は、後日文書で正式に送られるが口頭での指摘があった。各種加算に関する書類の様式が新様式に変更されていなかった点について、監査時の提出は旧様式であったが新様式での準備はできていたため問題はなかった。栄養ケア計画の説明日が、ケアプラン同意日以降になっていた点について、各種計画書更新日がケアプラン更新日と同日が望ましいため改善してきたい。また、地域密着のケアプランについて、長期目標と短期目標の期間が適切でないとの指導あり改善していきたい。また、栄養・衛生での指導があった点についても改善していきたい。

⑦ 事故・苦情の発生状況と詳細 (P13)

資料に沿って説明を行う。

転倒・骨折のため入院となった事故の内容と、その後の苦情の内容についての説明と、家族への対応、今後の対策について説明する。

(P14) 8月の事故・ヒヤリハットの件数・内容について資料を基に説明する。

(P15) 9月の事故・ヒヤリハットの件数・内容について資料を基に説明する。

(P16) 事故の要因を(環境要因・職員要因・本人要因)分析し対策を話し合う。(眠りスキャンを導入しているが、眠りの状態を計測する機器であり転倒防止のためではない。)

(P17~18) 服薬に関する事故が8月6件、9月4件発生した。「服薬マニュアル」に沿って、職員2名でのチェック体制を徹底していく。

(P19~22) 資料を基に、離設事故を検証した結果と再発防止対策について説明する。外に出られたと思われる個所について、フェンスの隙間がないように対策している。

⑧ イベント活動内容報告 (P23~27)

写真で紹介しながら振り返る。

8月17日夏祭り開催に当たり、地域の皆様に助けていただきありがとうございました。家族24名、地域ボランティア13名、フェニックス月が丘5名、兵庫大学学生22名、須磨ノ浦高校学生9名、桜谷荘7名の参加者を迎えた盛大な夏祭りを開催することができ、入居者、家族に大変喜んでいただけた。また、沖縄伝統芸能「エイサー」も披露され盛り上がった。

9月16日敬老会では、喜寿・米寿・卒寿、100歳を超える方2名の表彰式、紙芝居を披露した。

次回の施設全体でのイベントは12月21日クリスマス会を予定している。家族、地域ボランティアの参加を呼び掛け、一緒に楽しんでいただける催し物を企画している。

⑨ 内部研修・外部研修（職員の資質の向上）(P28)

内部研修では、事故リスクマネジメント研修、身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修、認知症ケア研修が実施された。11月、12月にも予定されている。外部研修では認知症介護実践者研修、ユニットリーダー研修等に参加している。

⑩ その他 看取り介護の取り組み紹介

(P29~30) 今回、看取り対象の方の家族より、孫のウェディングドレス姿を見せてあげたいとの希望を伺い、職員がサプライズを企画した内容について紹介する。ホームページにも掲載しているので是非見ていただきたい。

(P31) 介護保険外サービス費用について

居住費、食費、理美容代等について変更なし。

(2) デイサービスセンターさくらさく (P32~38)

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況 (P33)

登録者数は29名（男性12名、女性17名）、平均介護度は1.9、平均年齢は82歳となっている。

② ご利用者概要について (P34)

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では押部谷が多く、週2回利用が多い。要介護度は1の方が多く、次いで要介護度3、2となっている。

③ 稼働率について (P35)

今年度の目標75%に対して、8月90.7%、9月92%、平均86.3%と目標達成できている。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細 (P36)

レクリエーション中に転倒事故が1件あった。しっかり見守りし対策する。

苦情について、新人職員が迎え時にしっかりと挨拶や会話がなかったと家族より苦情ある。新人職員に対する教育を行っていく。

直近で10月10日に事故があった。迎え時、施設到着後、3人の利用者が降車していた。1人の利用者が前日不眠で興奮状態であったため、スタッフが対応につきっきりになっていた。その間に、別の1人の利用者がふらついて、後ろ向きに倒れ尻もちをつきそのまま後頭部を打った。意識なく、救急要請し西神戸医療センターに搬送された。結果、頭部は3cmの裂傷はあったが脳内の出血はなかった。尻もちをついた際に座骨骨折し、入院の必要性はないが立位がとれないため自宅での介護が難しくなり、緊急でショートステイ利用となった。独歩の方だったが車いす生活となつたため本人、家族に負担をかけた。原因として、歩行に介助が必要な方を一人にしてしまったこと。対策として、到着した時は事務所の応援を呼ぶなど協力をていき、安全に誘導できるようにする。

⑤ イベントと活動内容報告 (P37)

写真で紹介する。夏祭りは特養と合同で行い楽しんでいただけた。初めてエイサーを見たと言って喜んでいただけた。おやつフレクではホットケーキ作りをした。男性の方も楽しまれた。

⑥ 認知症カフェの開催・地域活動 (P38)

開催の様子を写真で紹介する。8月は夏バテ防止対策と夏バテに効くレシピを紹介し、実際料理し試食していただく。9月はアルツハイマー月間として介護相談やフレイル予防体操を行った。

⑦ その他 介護保険外サービス費用について (P39)

変更なし。

### 3 活動状況に係る評価及び要望・助言等

(1) A委員：どこの施設でも最初は最期まで看てくれると言うが、結局、状態が悪くなれば病院に行かされてしまうという話をよく聞く。櫻ホームでの現状はどうか。

【回答】現在5名の方の看取り介護をさせていただいている。最近も看取り対応の方が施設で最期を迎えた。

(2) B委員：施設での看取りを実際経験してみて良かったと思うし、周りの経験された方からも良かったとの話を聞く。家族にとっては大事なこと。今後もお願いしたい。

【回答】今後も看取り介護を充実させていき、ご本人、ご家族の希望がかなう最期を迎えることができるよう取り組んでいきたい。

(3) C委員：地域ケア会議に内田ディ管理者、別府居宅管理者に参加してもらった。地域にも認知症の方が多くなってきている。今まで元気にボランティアをされていた方の中にも認知症になった方もいる。さくらカフェに参加し、新しい知識を得ることや、相談できることはありがたい。今後もよろしくお願いしたい。

【回答】さくらカフェにお誘いあわせの上、参加していただければありがとうございます。

(4) D委員：地域ケア会議に参加していただき、有意義な会議になった。認知症の方や家族が安心して暮らせる地域にしていきたい。社会資源としてさくらカフェも活用していきたい。居宅介護支援事業所さくらさくも開設し、介護の方をケアマネに繋ぐことがなかなか難しい中、協力いただきてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

【回答】こちらこそいつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

(5) E委員：事故について、日頃からリスク管理が必要。月に1回でもいいので定期的に危ない箇所がないか確認し話し合うなど、対策する必要がある。

【回答】貴重な意見ありがとうございます。事故の内容については共有しているが、毎月のスタッフ会議の中でも、どこにリスクがあるか確認し合い情報を共有していきたい。

### 4 さいごに

居宅介護支援事業所が開設し、利用者を紹介していただき、また、地域ケア会議などの情報をいただきありがとうございます。地域でお困りの方がおられましたら、認知症の専門性を持ってできる限りの対応をさせていただきたい。また、空床のないよう受け入れもしていきたい。これから、感染症が流行する季節もあるが、入居者の安心、安全を守りつつ地域のイベントにも参加していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

次回開催予定：令和 6年 12月 19日（木） 10:00～11:00

出席者

(第三者委員)

小川 薫	月が丘自治会 会長
世良 英雄	押部谷東ふれあいのまちづくり協議会 顧問
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
道本 彩	おしべあんしんすこやかセンター

(デイさくらさく利用者家族)

小林 達男

(櫻ホーム西神)

馬場 宏知	施設長
大野 智子	生活相談員
真杉 亜希子	介護副主任
緒方 裕一	施設介護支援専門員
松崎 淳子	施設介護支援専門員

(デイサービスセンターさくらさく)

内田 創一郎 デイサービスセンターさくらさく管理者

(居宅介護支援事業所さくらさく)

別府 美保 居宅介護支援事業所さくらさく管理者

欠席者

納見 年子 桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長